

## 第3学年 社会科学学習指導案

日 時：令和5年11月22日（水）公開授業Ⅰ

対象児童：滝沢市立滝沢小学校3年4組 30名

授業者：北條 和晴

- 1 単元名 わたしたちの市の歩み（教育出版 小学社会3）  
小単元名 かわる道具とくらし

### 2 単元の目標

- (1) 生活の中で使われる道具の変化について、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、具体的な資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。  
〔知識及び技能〕
- (2) 生活の中で使われる道具の変化や、人々の生活との関連を考える力、考えたことを表現する力を養う。  
〔思考力、判断力、表現力等〕
- (3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。  
「学びに向かう力、人間性等」

### 3 単元について

#### (1) 児童について

児童はこれまで、身近な地域や市の様子として滝沢小学校の周りの地理的環境を、地域に見られる生産や販売の仕事として、スーパーマーケットで働く人や農家が、どのような仕事をしているか学習し、自分の生活とのつながりを学んできた。身の回りの地理的環境や現代社会の仕組みを考える学習をしてきたが、本単元では、昔の市の様子を学習することで、現在に至るまでの経緯や現在のくらしとの比較を行っていきたいと考える。

普段の学習の中で、学習のねらいに関わる資料を読むことはできているが、地理歴史的背景や現代社会の仕組み的背景を資料から読み取り、深め合う力はこれから高めていかなければならない課題である。

社会科の授業の中での対話については、自分の考えを学級全体の中で交流することを繰り返してきた。しかし、自分の考えを互いに伝えることで終わることが多く、その後の深まりが必要である。ICT活用では、タブレットや地図帳などを活用して、学習を進める力が身に付いてきている。特に、ロイロノートを用いて、個々の考えをまとめて共有し合うことで、学習内容の理解を深めてきた。ただし、学習課題解決の取組には個人差があるため、差をなくしていくことも必要である。

#### (2) 教材について

本教材は、滝沢市の人々の生活の変遷を道具からたどっていく学習である。現在の衣食住の生活で使われている道具と昔の道具を比較することから、昔の生活様式を学ぶ。道具の移り変わりから人々の生活が移り変わってきたことを理解していく。また、滝沢市における農作業の道具にも着目させることで、暮らしの変化の理解を深めさせる。人々の暮らしが移り変わる様子を、道具を通して理解し、道具と暮らしの様子を年表にまとめていく。本教材を基にして、滝沢市の「交通・土地の様子・人口・公共施設」の移り変わりを調べ、年表にまとめる学習へとつながっていく。

#### (3) 指導について

本単元の指導にあたっては、まず第1時において、昔の滝沢市の写真から人々の生活の様子を想像させる。土地の様子や建物の様子など、現在の様子と比べることで、意欲を高めたい。

第2時から第7時では、実際の昔の道具を見ることで、何に使われていたかを想像させる。そして、想像したことをもとに、学習課題を立て、調べていく。郷土資料館を訪ねたり、地域の方にインタビューしたりすることで、昔の暮らしへの理解を深め、現在の道具と比較していく。日常生活の道具と農作業の道具を扱うことで、滝沢市における生活の変化を理解させたい。第8時では学習のまとめとして、年表を作成する。年表にまとめることで、暮らしの移り変わりが見やすくまとまっていることに気付かせる。作成した年表は、次の学習で滝沢市の「交通・土地の様子・人口・公共施設」の移り変わりを年表に付け足す学習へとつながっていく。

昔と現在の道具を比較することにおいて、人々の暮らしがどのように変わったか、対話によって考えを深めていきたい。また、年表作成にあたっては、道具調べカードをカメラに納めロイロノートの中の表にまとめていきたい。

#### 4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①炊事や洗濯など家事に使用する道具や農作業の道具など生活の中で使われた道具について、見学や聞き取り調査をして調べ、必要な情報を集め、人々の生活の様子を理解している。</p> <p>②調べたことを道具調べカードや年表にまとめ、人々の生活の移り変わりについて理解している。</p>	<p>①炊事や洗濯など家事に使用する道具や農作業の道具など生活の中で使われた道具などに着目して、問いを見いだし、人々の生活の様子について考え表現している。</p> <p>②昔の道具と今の道具を比較したり、分かったことを総合したりするなどして人々の生活の様子の変化について考え表現している。</p>	<p>人々の生活の移り変わりについて、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。</p>

#### 5 単元計画（7時間）

時間	ねらい・学習活動	評価規準（評価方法）		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	・昔と現在の滝沢市の様子比較し、まちの様子の変化に関心をもつ。		・思①(行動観察) (ノート分析)	
2	・昔と今の道具の違いをもとに学習問題をつくり、道具と暮らしの移り変わりについて調べる学習の見通しを立てる。			・態①(行動観察)
3 4	・昔と今の家事の道具について調べて、その違いについて話し合う。		○思①(行動観察) (ノート分析)	
5	・地域の人に、昔の農具と暮らしの様子について、インタビューして調べる。	・知①(行動観察) (ノート分析)		
6	・郷土資料館を見学し、昔の農具について調べて、絵カードにまとめる。	・知①(行動観察) (ノート分析)		
7 本時	・昔と今の農具について調べて、その違いについて話し合う。		○思①(行動観察) (シート分析)	
8	・道具と暮らしの移り変わりを年表にまとめ、分かったことを話し合う。	○知②(行動観察) (ノート分析)	○思②(行動観察) (シート分析)	

## 6 本時の指導（7時間目/全8時間）

- (1) 目標  
 同じ用途の農作業の道具の変化に着目し、人々の暮らしの変化について、整理・分析ができる。
- (2) 評価規準

観点	B おおむね満足できる	Bに到達させるための手立て
思考判断表現	稲作で使う農作業の道具の変化とそれに伴う暮らしの変化について整理・分析し、表現している。	稲作で使う農作業の道具の特徴から、暮らしの変化を考えさせる。グループでの対話や全体交流で、友達のを考えをよく聞くようにさせる。

### (3) 展開

段階	学習活動	指導上の留意点
導入 5分	1 前時想起	◇対話に関わる指導 □書くことに関わる指導 ●評価 ・ロイロノートに保存した昔の農具と今の農具の絵カードの内容を確認する。(ICT活用)
	2 課題把握	
展開 30分	<b>【学習課題】</b> 農具とともに、暮らしの様子はどのようにかわってきたのだろう。	
	3 解決の見通し (1)答えの見通し	・学習課題について予想させることで、関心をもたせる。 (例) よくなった ベんりになった ・暮らしの様子とは、農作業や生活の様子の変化を考えていくということを確認する。
	(2)方法の見通し	・昔と今の絵カードから、暮らしの様子の変化を見つけることを確認し、学習の見通しをもたせる。
	4 課題解決 (1)暮らしの様子の変化をノートにまとめる。	・「農作業は、どう変わったか。」「生活はどう変わったか。」について、絵カードをもとにして考えさせる。
	(2)全体交流	・暮らしの様子の変化について考えたことを発表させる。 ◇全体で確認し、便利な生活になったこと、豊かな生活になったことに気付かせる。
5 学習のまとめ	農具がきかいになり、暮らしがべんりでゆたかになった。	
終末 10分	6 振り返り	●同じ用途の農具の変化に着目し、人々の暮らしの変化について、整理・分析ができる。 ・本時の学習を通して学んだことを発表し合い、共有させる。
	<b>【例】</b> 農具がかわったことで、滝沢市の人々の生活が楽になったり、べんりでゆたかになったことが分かりました。ほかにかわったことも調べたいです。	
	7 次時予告	

(4) 板書計画

農具とともに、暮らしの様子はどのように  
かわってきたのだろう。

農具がきかいになり、暮らしが  
べんりでゆたかになった。

予想

よくなった  
べんりになった

学習 1

昔の農具

今の農具

学習 2

ゆたか  
べんり  
楽になった

見通し

農作業  
生活

ふりかえり